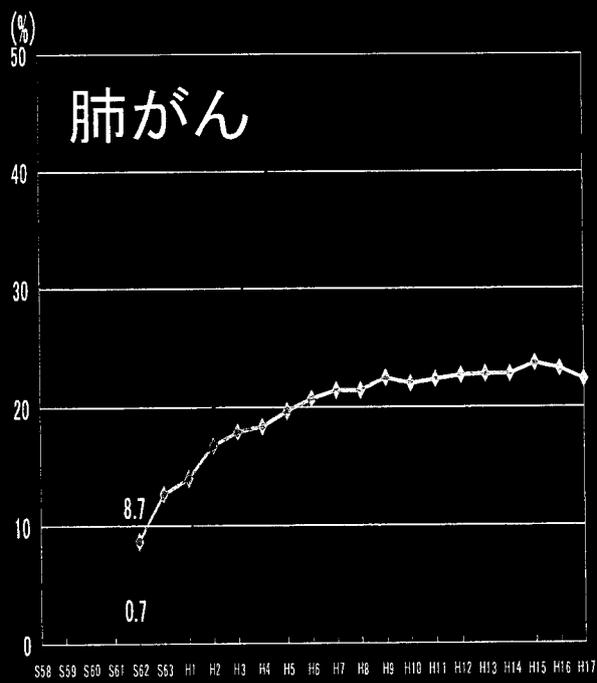
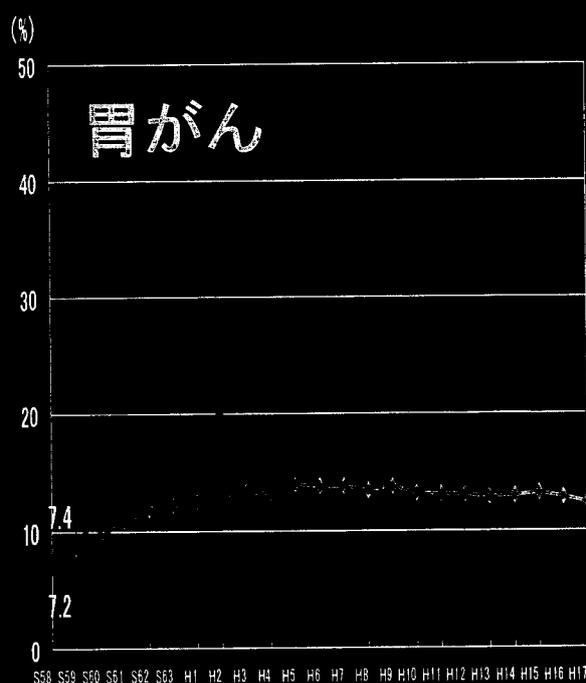


＋ がん検診 - 富山県の取組み -

富山県厚生部健康課
主幹 加納紅代

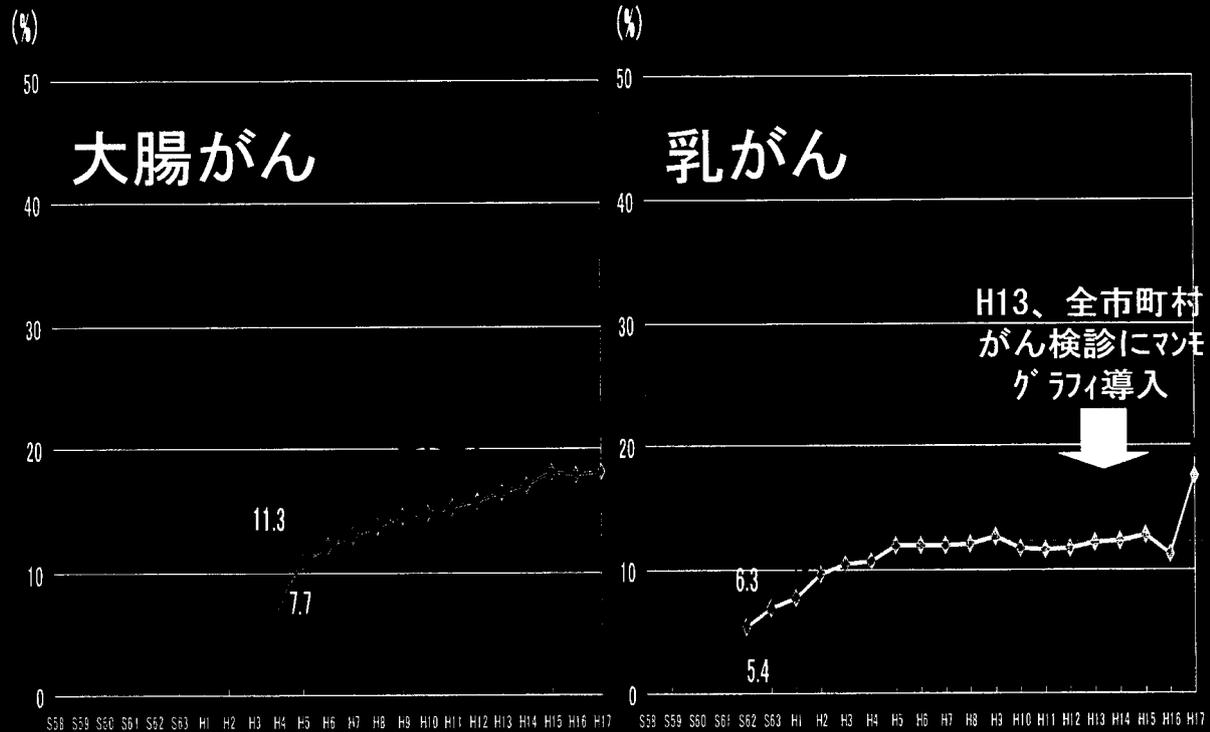
がん検診受診率の推移 ■ 全国

(昭和58年～平成17年)



がん検診受診率の推移 ■ 全国

(昭和58年～平成17年)



がん検診受診率向上のための これまでの取り組み



1 富山県の取り組み

- 節目年齢者のがん検診料金に助成
- がん対策推進員などのボランティアによる受診勧奨活動の推進
- 商工団体が行うがん検診の啓発指導や検診企画事業への助成
- がん予防ポスターの制作 等

2 市町村の取り組み

- 広報誌、回覧板、はがき、カレンダー配付による普及啓発
- 個別受診案内の送付
- がん対策推進員による受診勧奨
- 早朝、夜間、土日の検診実施、複合検診(他の検診と組み合わせ)
- 未受診者への再通知 等

節目検診推進事業

1 内容

受診率向上のため、節目年齢者の自己負担額を軽減あるいは無料としている市町村に補助

2 対象

- 胃がん検診・乳がん検診
40～60歳の節目年齢
- 肺がん検診(ヘリカルCT)
50～70歳の5歳刻みの節目年齢
- 子宮がん検診
20～60歳の5歳刻みの節目年齢

がん対策推進員活動支援事業

1 趣旨

地域に根ざしたがん予防の普及啓発やがん検診の受診勧奨を行う「がん対策推進員」(ボランティア)を養成

2 支援内容

- がん対策推進のための組織運営
- がん予防の普及啓発及びがん検診の受診勧奨等に要する経費

(がん対策推進員の養成状況)

平成元～5年度	推進員養成 (4,951名)
平成6～7年度	リーダー養成 (189名)
平成10年度～	各市町村独自で養成
現在、約4,000名のがん対策推進員が活動	

中小企業がん検診推進事業

+

1 内容

(1) がん予防の普及啓発の推進

- 事業主や従業員にがん予防講習会を開催
- がん検診啓発用パンフレット等の作成

(2) 事業所におけるがん検診の推進

- がん検診の企画立案及び事業主との調整
- 事業所への案内及び受診者の把握 など

2 実施機関

商工会議所、商工会連合会、中小企業団体中央会

マンモグラフィによる乳がん検診



- 1 マンモグラフィ機器導入の経緯
 - ・ H12 富山県健康増進センターに、1基（据置型）
 - ・ H13 同センターに5基（車載型）
- 2 市町村がん検診
 - ・ H13 すべての市町村にマンモグラフィ検診導入
- 3 女性のがん緊急対策
 - ・ マンモグラフィ検診の普及啓発
 - ・ 検診用マンモグラフィ機器を増設

ヘリカルCT肺がん検診導入モデル事業

平成16年度から3か年のモデル事業を実施

- 1 対象者：市町村と事業所の40歳以上の男女
- 2 検診体制の整備
 - ① 読影体制の構築
 - ② 精密検査医療機関の登録
 - ③ 精密検査受診体制整備



ヘリカルCT検診車

	16年度	17年度	18年度	計
検診受診者	1,248名	1,429名	688名	3,365名
精検受診者	158名	103名	33名	294名

肺がん 4名 5名 5名 14名

93%が
TNM分類
I期

平成19年度から、50～70才の節目年齢者へ、
検診費補助を開始。

がん検診についての取組(1)

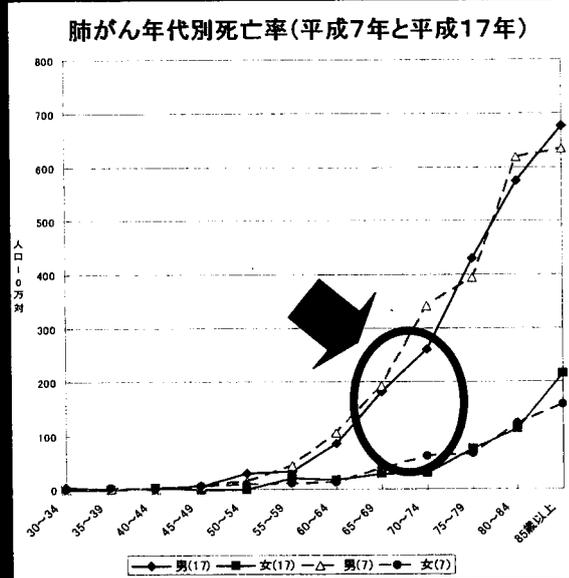
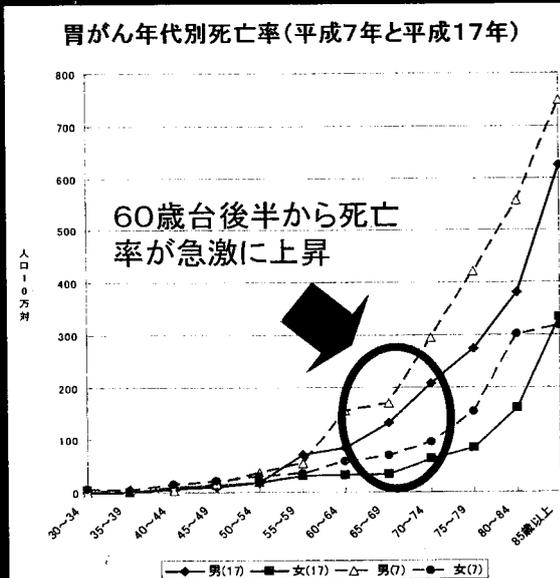
「富山県がん対策推進計画」

部位	内容
胃がん	胃エックス線検査の精度の向上 節目年齢者への内視鏡検査導入の推進
肺がん	節目年齢者や喫煙者等ハイリスク者への低線量ヘリカルCT検査 導入の推進 胸部エックス線検査、喀痰細胞診検査の精度の向上
大腸がん	精検受診率の向上 大腸がんの内視鏡検査を行う医師の養成に努力
乳がん	マンモグラフィ検査精度の向上 30～40歳代への超音波検査の導入に向けて検討 自己触診法の普及
子宮頸がん	ヒト・パピローマウイルス（HPV）検査の導入に向けての検討 細胞診検査の精度の向上
肝がん	肝炎ウイルス検査の促進 肝炎ウイルス陽性者のフォロー体制の強化 肝炎、肝がんに関する正しい知識の普及

がん検診についての取組 (2)

「富山県がん対策推進計画」

重点年齢



○ 死亡率を考慮し、重点的に検診普及に取り組む年齢を設定
例) 胃がん 50歳代、肺がん 60歳代

女性のがん検診推進強化事業



事業内容

- (1) 女性のがん検診普及啓発事業
 - ・ がん検診受診のポスター
 - ・ ピンクリボンキャンペーンと連動した活動
- (2) 新たな乳がん検診推進強化事業
 - ・ 受診率の向上と精度の高い検診の実施体制を整備

+

富山県がん対策推進計画
基本目標

がんを知り、がんを克ち、
がんとともに生きる